

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場会社名 福井コンピュータ株式会社

上場取引所 東

コード番号 9790 URL <http://www.fukuicompu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 眞

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 林 治克

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

TEL 0776-53-9200

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	4,657	△1.6	281	—	319	—	125	—
21年3月期第3四半期	4,732	—	△69	—	△64	—	△256	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	10.94	—
21年3月期第3四半期	△20.56	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
22年3月期第3四半期	7,414	—	5,424	—	72.9	—	470.17	
21年3月期	7,036	—	5,265	—	74.8	—	458.36	

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 5,401百万円 21年3月期 5,265百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,350	△0.7	343	—	342	—	106	—	9.23

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 —社 (社名 ) 除外 —社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	13,295,000株	21年3月期	13,295,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	1,806,831株	21年3月期	1,806,781株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	11,488,204株	21年3月期第3四半期	12,489,035株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は持ち直してきていますが回復力に勢いが無い状況でありました。

このような経済状況のもとで、当社グループ（当社及び連結子会社）における当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高4,657百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益281百万円（前年同期は営業損失69百万円）、経常利益319百万円（前年同期は経常損失64百万円）、四半期純利益125百万円（前年同期は四半期純損失256百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①建設業系CAD事業

##### 建築CADソフトウェア

昨年6月施行の長期優良住宅普及促進法に呼応した販売促進策を実施いたしましたが、法律施行前は市場が停滞し売上は伸び悩みました。しかしながら、10月に主力商品のバージョンアップ版（3次元建築設計システム「ARCHITREND Z Ver. 5」）の発売や新商品（BIM建築設計システム「GLOBE(グローブ)」）発売の相乗効果もあり、既存顧客からの売上増加につながりました。この結果、建築CADソフトウェアの売上高は2,250百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

##### 測量CADソフトウェア

昨年改正されました公共測量作業規定に対応すべく主力商品（測量計算CADシステム「BLUETREND V」）の対応版を昨年2月に、「準則」への対応版を昨年8月に発売し、測量業向けにシステムアップ、バージョンアップの促進を実施いたしました。しかしながら、民需が中心の土地家屋調査士業では新規住宅着工数が大幅に減少した影響を受け、売上が伸び悩みました。この結果、測量CADソフトウェアの売上高は964百万円（前年同期比13.6%減）となりました。

##### 土木CADソフトウェア

政府の経済対策として、公共工事の前倒しや補正予算の執行により公共工事量が増加したことと、主力製品の「EX-TREND武蔵」のバージョンアップ版を昨年10月に発売したことにより、新規顧客、既存顧客ともに売上が増加しました。この結果、土木CADソフトウェアの売上高は742百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

これらの要因により売上高4,443百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は655百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

#### ②メディカルフィットネス事業

メディカルフィットネス事業につきましては、6月30日をもって撤退いたしました。これにより営業損失は44百万円（前年同期は営業損失197百万円）となりました。

#### ③ITソリューション事業

昨年8月の第45回衆議院議員総選挙において報道機関向け出口調査システム「OneClickCounter」が幅広く利用されたことで、大きく売上が増加しました。この結果、売上高は199百万円（前年同期比199.5%増）となり、営業利益は42百万円（前年同期は営業損失74百万円）となりました。

#### ④その他の事業

スクール事業により売上高14百万円（前年同期比83.6%減）、営業損失18百万円（前年同期は営業損失6百万円）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、7,414百万円となり、前連結会計年度末より377百万円増加しました。主な要因は、当第1四半期連結会計期間より連結子会社とした株式会社ザ・システムの総資産の増加などによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前連結会計年度末より720百万円増加し1,211百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、582百万円（前年同期比153.0%増）となっております。主な要因としましては、税金等調整前四半期純利益265百万円及び減価償却費206百万円の計上等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により得られた資金は、174百万円（前年同期は184百万円の使用）となっております。主な要因としましては、定期預金の預入及び払戻による純収入188百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、35百万円（前年同期比94.7%減）となっております。主な要因としましては、短期借入金の純減少額30百万円等によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想（平成21年5月15日発表）の見直しは行っておりません。

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。
  
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,557	820
受取手形及び売掛金	988	1,006
有価証券	10	10
商品及び製品	35	46
仕掛品	8	13
原材料及び貯蔵品	52	54
その他	141	219
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	2,789	2,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,939	1,971
土地	1,147	1,003
その他（純額）	67	86
有形固定資産合計	3,154	3,062
無形固定資産		
のれん	30	—
その他	92	138
無形固定資産合計	122	138
投資その他の資産		
投資有価証券	767	778
その他	588	899
貸倒引当金	△8	△6
投資その他の資産合計	1,347	1,671
固定資産合計	4,624	4,872
資産合計	7,414	7,036

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20	69
1年内返済予定の長期借入金	10	—
未払法人税等	51	26
前受金	1,130	1,078
賞与引当金	50	82
その他	479	369
流動負債合計	1,741	1,626
固定負債		
長期借入金	78	—
長期末払金	144	144
その他	25	—
固定負債合計	248	144
負債合計	1,990	1,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,631	1,631
資本剰余金	2,861	2,861
利益剰余金	1,733	1,607
自己株式	△771	△771
株主資本合計	5,455	5,329
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△53	△67
為替換算調整勘定	—	4
評価・換算差額等合計	△53	△63
少数株主持分	22	—
純資産合計	5,424	5,265
負債純資産合計	7,414	7,036

(2) 四半期連結損益計算書  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	4,732	4,657
売上原価	1,030	946
売上総利益	3,702	3,710
販売費及び一般管理費	3,771	3,429
営業利益又は営業損失(△)	△69	281
営業外収益		
受取配当金	10	7
受取保険金	13	8
その他	19	23
営業外収益合計	42	40
営業外費用		
支払利息	—	1
為替差損	9	—
賃貸費用	6	—
投資事業組合運用損	21	—
その他	0	0
営業外費用合計	38	2
経常利益又は経常損失(△)	△64	319
特別利益		
関係会社出資金売却益	—	5
特別利益合計	—	5
特別損失		
固定資産除却損	3	1
投資有価証券評価損	90	—
事業撤退損	—	57
特別損失合計	93	59
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△157	265
法人税、住民税及び事業税	27	41
法人税等調整額	71	97
法人税等合計	98	138
少数株主利益	—	1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△256	125

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△157	265
減価償却費	237	206
賞与引当金の増減額(△は減少)	△146	△33
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△38	—
投資有価証券評価損益(△は益)	90	—
売上債権の増減額(△は増加)	544	21
たな卸資産の増減額(△は増加)	△156	18
前受金の増減額(△は減少)	85	39
その他	△96	74
小計	362	591
利息及び配当金の受取額	15	15
利息の支払額	—	△1
法人税等の支払額	△147	△22
営業活動によるキャッシュ・フロー	230	582
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△595	△611
定期預金の払戻による収入	780	800
有形固定資産の取得による支出	△65	△12
無形固定資産の取得による支出	△34	△16
投資有価証券の取得による支出	△305	—
投資有価証券の売却による収入	32	39
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△83
その他	3	59
投資活動によるキャッシュ・フロー	△184	174
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△30
長期借入金の返済による支出	—	△4
自己株式の取得による支出	△405	△0
配当金の支払額	△278	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△683	△35
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△637	720
現金及び現金同等物の期首残高	1,178	490
現金及び現金同等物の四半期末残高	541	1,211

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

	建設業系 CAD事業 (百万円)	メディカル フィットネ ス事業 (百万円)	IT ソリューシ ョン事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,570	6	66	88	4,732	—	4,732
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,570	6	66	88	4,732	—	4,732
営業利益又は営業 損失 (△)	607	△197	△74	△6	329	△398	△69

当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

	建設業系 CAD事業 (百万円)	メディカル フィットネ ス事業 (百万円)	IT ソリューシ ョン事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,443	—	199	14	4,657	—	4,657
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,443	—	199	14	4,657	—	4,657
営業利益又は営業 損失 (△)	655	△44	42	△18	635	△353	281

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
建設業系CAD事業	建築CADソフトウェア、測量CADソフトウェア、土木CADソフトウェア等
メディカルフィットネス事業	フィットネス機器、その他ジム用機器等
ITソリューション事業	選挙出口調査システム、てなわん宿泊予約、CAD以外のシステム開発等
その他の事業	CADスクール等

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	前年同四半期比 (%)
建設業系CAD事業 (百万円)	4,443	97.2
建築CADソフトウェア (百万円)	2,250	98.9
測量CADソフトウェア (百万円)	964	86.4
土木CADソフトウェア (百万円)	742	110.5
サポートサービス (百万円)	315	97.2
ハードウェア他 (百万円)	170	93.9
ITソリューション事業 (百万円)	199	299.5
その他の事業 (百万円)	14	16.4
合計 (百万円)	4,657	98.4